

# 化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

前期

科目No.	504	科目名	コミュニケーション学特論1	サブネーム	消費者運動の歴史と将来		
共催機関名	主婦連合会	レベル	基礎～中級	講義枠	金曜日	講義時間	18:30～20:00
科目概要	昭和20年代、焼け跡の中から日本の消費者運動がはじまった。消費者運動の歴史と運動によって制定された法律などを解説し、消費者の権利の重要性を説明する。一人ひとりの消費者が歴史を切り拓く主役であり、消費者権利の実現が私たちの暮らしを改善する契機となることをテーマ別に紹介する。						

サブタイトル	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
はじめに	1 消費者運動と主婦連合会の歴史	日本の消費者運動と主婦連合会の歴史の概要を紹介する。	4月15日	102	中村紀伊	
テーマ別の消費者運動	2 日用試験室	消費者団体で初めて日用試験室を設置し、さまざまなテストを行い、これを基に行政や業界に改善の要求や提案してきた経緯やテスト結果から改善された表示方法や制定された法律などについて解説する。	4月22日	102	中村紀伊	
	3 苦情の窓口	毎日の暮らしの中で、主婦がどんな苦情や不満を持ち、どんな解決を望んでいるのかを知り、生活の場からの声を政治、行政、業界に反映させようと1961年に苦情の窓口を全国35か所に開設した。テーマ別苦情調査も実施し、消費者関連法の制定や既存の法律改正などに寄与してきた経緯を紹介する。	5月13日	102	佐野真理子	
	4 ジュース裁判とヤミカルテル灯油裁判	ジュース裁判は、「消費者の権利裁判」と位置づけ公正取引委員会と争った。「ヤミカルテル灯油裁判」では、損害賠償請求を行った。裁判までの状況と裁判でなにを得たかなどについて解説する。	5月20日	102	清水鳩子	
	5 NO2大気汚染測定調査	きれいな空気を求めて、1978年から毎年6月と12月にNO2の測定運動を続けてきた。測定運動とともに、公害患者が国・東京都・7大自動車メーカーを相手に起こした「東京大気汚染公害裁判」を支援した。25年以上続いている大気汚染測定調査と裁判の現状を紹介する。	5月27日	102	清水鳩子	
	6 消費税とくらし	1970年代後半から「くらしと税」の最大の柱は消費税だった。1978年に一般消費税の審議が開始され、86年には売上税と名を変え再登場した。88年12月に強行採決という異常な政治行動によって、税率3%の消費税が導入された。その間の消費者団体の動き等を説明し、「消費税とくらし」について解説する。	6月3日	102	和田正江	
	7 情報通信	インターネットという地球規模のネットワークが動き出し、新しい消費者問題が発生。ダイヤルQ2問題、公衆電話基本料の値上げ、発信電話番号表示制度の導入など、マルチメディア時代の進展に伴う消費者問題について解説する。	6月10日	102	石岡克俊	
	8 消費者教育	消費者教育は、単に買い物上手だけでなく、主体的な判断力を持つ「経済市民」を育てるという点に重点を置くべきとの考えから進めてきた消費者教育の運動を紹介する。	6月17日	102	鈴木深雪	主婦連合会
	9 食の表示	消費者が多くの商品の中から自分のほしいものを選択するには、適正な表示が不可欠である。相次ぐ偽装表示発覚の中、真に消費者が求める表示について解説する。	6月24日	102	和田正江	
	10 食の安全	国際標準化に伴う規制緩和が進み、食品添加物・農薬等の基準が大幅に緩和された。安全性の後退につながる規制緩和、遺伝子組み換え食品、環境ホルモン、BSEに関する問題などについて解説する。	7月1日	102	和田正江	
	11 PL法制定まで	1994年6月22日、参議院において全会一致で製造物責任法(PL法)が成立した。PL法が制定するまでの長い運動の紹介と消費者団体が求める現行法改正について解説する。	7月8日	102	清水鳩子	
	12 はみ出し自販機とお酒	酒とタバコの自動販売機を全廃する目的で始まった「はみ出し自販機撲滅運動」は、住民訴訟を起こし、最高裁まで争った。その経緯の紹介とお酒に関する問題(未成年者・妊婦の飲酒、表示、広告など)について解説する。	7月15日	102	佐野真理子	
	13 情報公開と個人情報	情報公開法及び個人情報保護法の制定運動を紹介し、両制度の持つ消費者にとっての意義と課題を解説する。	7月22日	102	三木由希子	
	14 ISOと日本の規格	ISOの規格は任意だが、モノだけでなく、サービスにまでおよび、消費生活に影響を与えている。ISO/COPOLCO(消費者政策委員会)の紹介とそこでの検討内容を解説する。	7月29日	102	佐野真理子	
	15 ごみ減量からグリーンコンシューマーへ	地球環境は悪化の一途をたどっている。持続可能な循環型社会を求めて、グリーンコンシューマー運動が始まった。大量生産・大量消費・大量廃棄だけでなく、大量リサイクルになりつつある現状とグリーンコンシューマー運動の紹介をする。	8月5日	102	佐野真理子	